

2024年度 研究、教育、社会・学会活動報告書

1. 研究（本年度のみ）

ふりがな	こうさか ゆうき				
教員氏名	高阪 勇毅	職 位	准教授	学 位	博士（経済学）
アルファベット表記	Youki Kohsaka				
専門分野		ファイナンス・行動経済学			
研究課題	テーマ	編入学試験対策としてのマクロ経済学指導法			
	概要	編入学試験対策として望ましいマクロ経済学指導法を確立するため、教科書選定、試験問題の傾向を調査し、カリキュラムづくりの参考にした。			
本年度 研究業績	研究テーマ	現先間裁定の実証、新型コロナウイルス感染症と幸福度			
	経過と到達点	注文データの加工・整理、COVID-19 拡大による幸福度の低下とその後の改善の発見			

（1）学術論文

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
①英文査読論文					
②和文査読論文					
③英文論文					
④和文論文					
⑤紀要論文					
⑥紀要研究ノート、専門誌記事等					
⑦学会での 口頭発表、討論者(ディスカッサント)	「東証の PBR 改善要請と人的資本」	2024/9/4		京都経済短期大学 経営情報学会	東証の PBR 改善要請の意図と人的資本の評価方法について発表した。
	「株式分割バブルと投資家期待の膨張メカニズム」指定討論者	2024/10/13		日本金融学会 2024 年度秋季大会	指定討論者として登壇。当該研究の限界と改善点について発表した。

	「個人投資家の選好、金融リテラシーとリスク資産投資 一個票データによる分析」指定討論者	2024/11/9		2024 年度日本ファイナンス学会秋季研究大会	指定討論者として登壇。当該研究の限界と改善点について発表した。
--	---	-----------	--	-------------------------	---------------------------------

(2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
⑧共著書・共訳書				
⑨単著書・単訳書				

(3) 外部研究資金獲得(競争的資金獲得)

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑩共同研究 (研究代表)				
⑪単独研究	現先間裁定関係による市場効率性の計測 (研究代表者:高阪勇毅)	2023 - 2025	基盤研究(C)	本研究では現先間の無裁定関係を利用し、日本の株式市場の効率性の変遷を明らかにする。
⑫共同研究 (分担研究)	軍事リスク問題の経済学的解明:日本とイスラエルの比較分析 (研究代表者:筒井義郎)	2023 - 2027	国際共同研究加速基金(海外連携研究)	本研究課題は、この経済学の視点から、日本が軍事リスクの高まりにどのように対処すべきかを考察する。
⑬科学研究助成事業 (日本学術振興会)申請	※ 申請した場合は「申請」と記入。			

2. 教 育 (本年度のみ)

担当科目		前 期	後 期
		科目名	科目名
	講義	金融論、ミクロ経済学、行動経済学	金融市場論、編入対策特講Ⅰ

	演習	基礎ゼミ、ゼミナールⅡ、ゼミナール 特別活動	ゼミナールⅠ、ゼミナールⅢ、ゼミナール特別活動
	実習		
教育内容・方法 の工夫	◆ 講義科目 金融論・ミクロ経済学・行動経済学・金融市場論（穴埋め式レジュメの作成、Google フォームによる経済実験の実施、Google フォームによる授業時間外課題の作成・出題・回収、YouTube によるアーカイブ配信、YouTube による課題解説）		
	◆ 演習科目 Office365 共同編集機能を活用したグループワーク、Discord を利用した連絡体制の構築準備		
	実習科目		
	◆ その他（教科書・教材等の作成を含む。）		

(1) 課外活動

①研修旅行 海外	
②研修旅行 国内	

3. 社会・学会活動（本年度のみ）

（1）公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①委員長・座長 国・国際機関	
②委員長・座長 上記以外	
③委員・アドバイザー 国・国際機関	
④委員・アドバイザー 上記以外	

（2）学術団体の理事（日本学術会議協力学術研究団体）

分 類	活動・講演の概要
⑤理事長・会長	
⑥理事	

（3）講演会

分 類	活動・講演の概要
⑦講演者・登壇者・学会座長	

4. 特記事項（本年度のみ）

--